不登校児童生徒の出席等の取り扱いに関する指針の改定について

令和6年11月8日
子ども教育相談センター

1. 改定理由

本指針は、小中学校に登校できず、不登校の状態にある児童生徒が学校以外で学習した場合の出席等の取り扱いに関する市の指針として、令和5年5月に定めたものです。

今回の改定は、令和6年8月に学校教育法施行規則の一部を改正する省令が施行され、同時に文部科学省から欠席中の学習を評価する場合の告示等に関する通知が発出されたことを受け、不登校児童生徒の成績評価や出席の扱いに関する国の省令及び告示等の考え方を市の指針に反映したものであります。

2. 改正内容

改正点① 表題の変更

旧 小中学校における不登校児童生徒の出席等の取り扱いに関する指針

新 不登校児童生徒の成績評価及び出席等の取り扱いに関する指針

※従来の指針は、出席等の取り扱いを中心にした内容でしたが、国から欠席中の成績評価に関する基本的事項及び留意事項等が示されたことから、これらを市の指針を加えることとし、表題を改めます。

改正点② 成績評価及び成績評価に関する留意事項を追加

国通知等を受け、指針の1、2として不登校児童生徒の成績評価に関する基本的事項、留意事項10項目を追加し、従前の出席等の扱いに関する項目は3以下に繰り下げます。

改正点③ 3 不登校児童生徒の出席扱いの規定の繰り下げ

従来指針の1で規定していた内容を3以下に繰り下げ、文章を見直しました。

旧指針の1は3(1)、2は3(2)、3は3(3)、4は3(4)に変更します。

改正点④ 3(4) ICT等を活用して自宅等で学習活動を行った場合の規定の見直し

従来規定では、出席扱いの判断にあたり、自宅での学習に使用する学習支援ソフトは、学校で使っている学校指定のソフトに限定していましたが、国通知において、民間のeラーニング等による学習についても学習状況を把握した上で成績に反映できるとの見解が示されたため、自宅等で学習活動に用いるソフト等を幅広く認められるよう改定します。

旧 自宅等において学校指定の学習支援ソフトによる学習

新 自宅等においてICT等を活用した学習支援ソフトによる学習

3. 指針の見直し日

令和6年11月8日